

■ 品質管理室

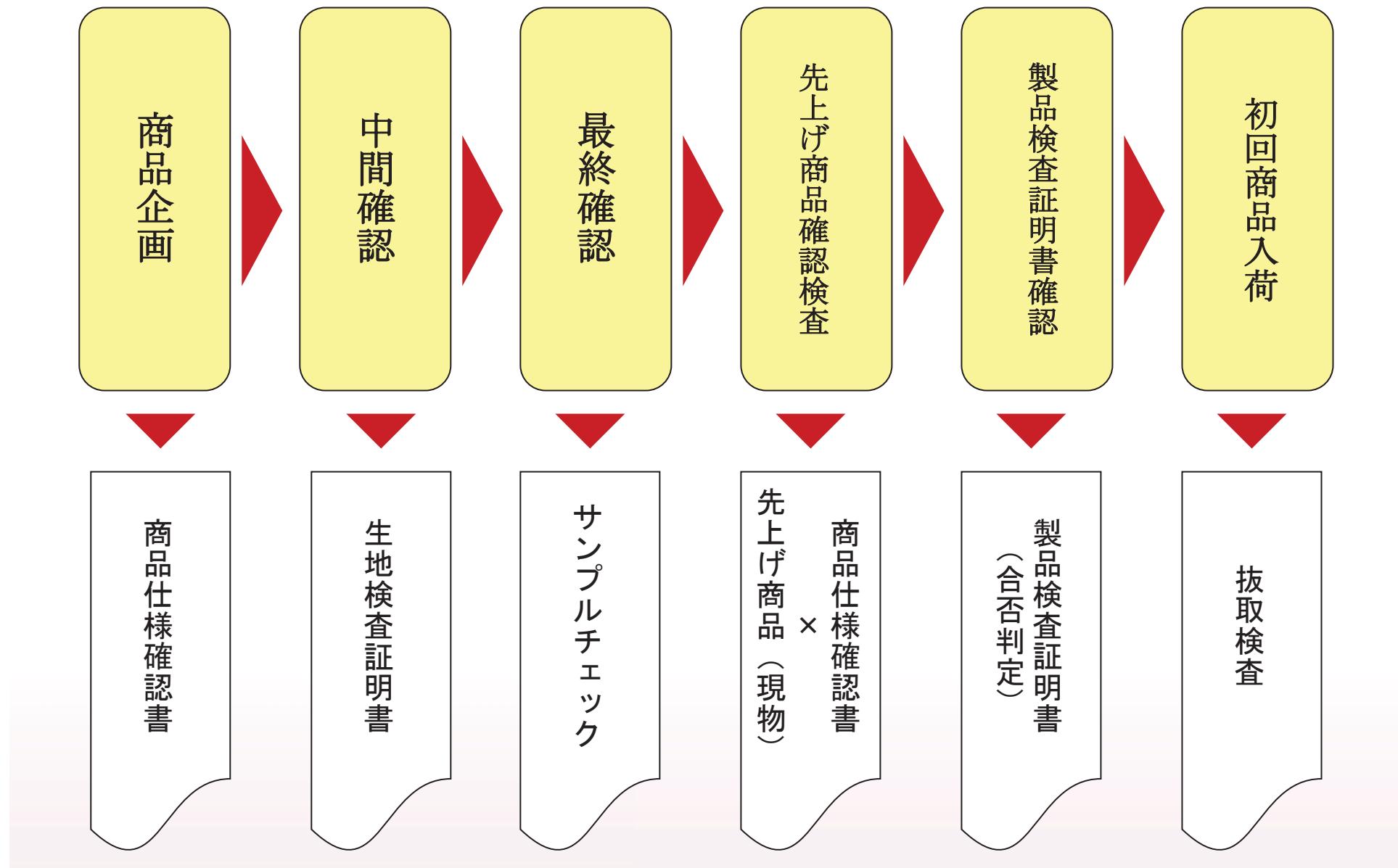
スクロールロジスティクスセンター浜松西



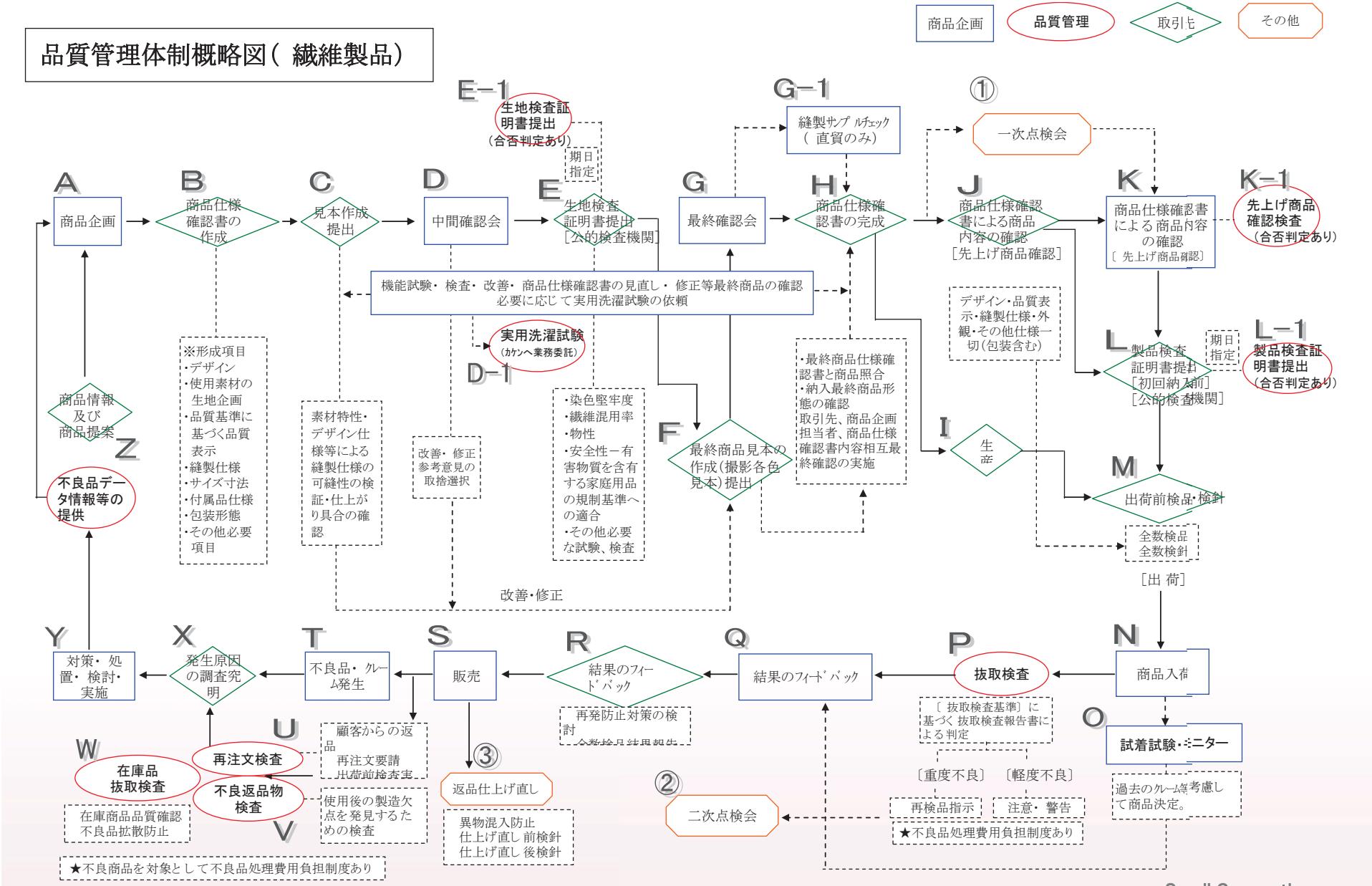
商品入荷バース

品質管理室
チーム長以下17名

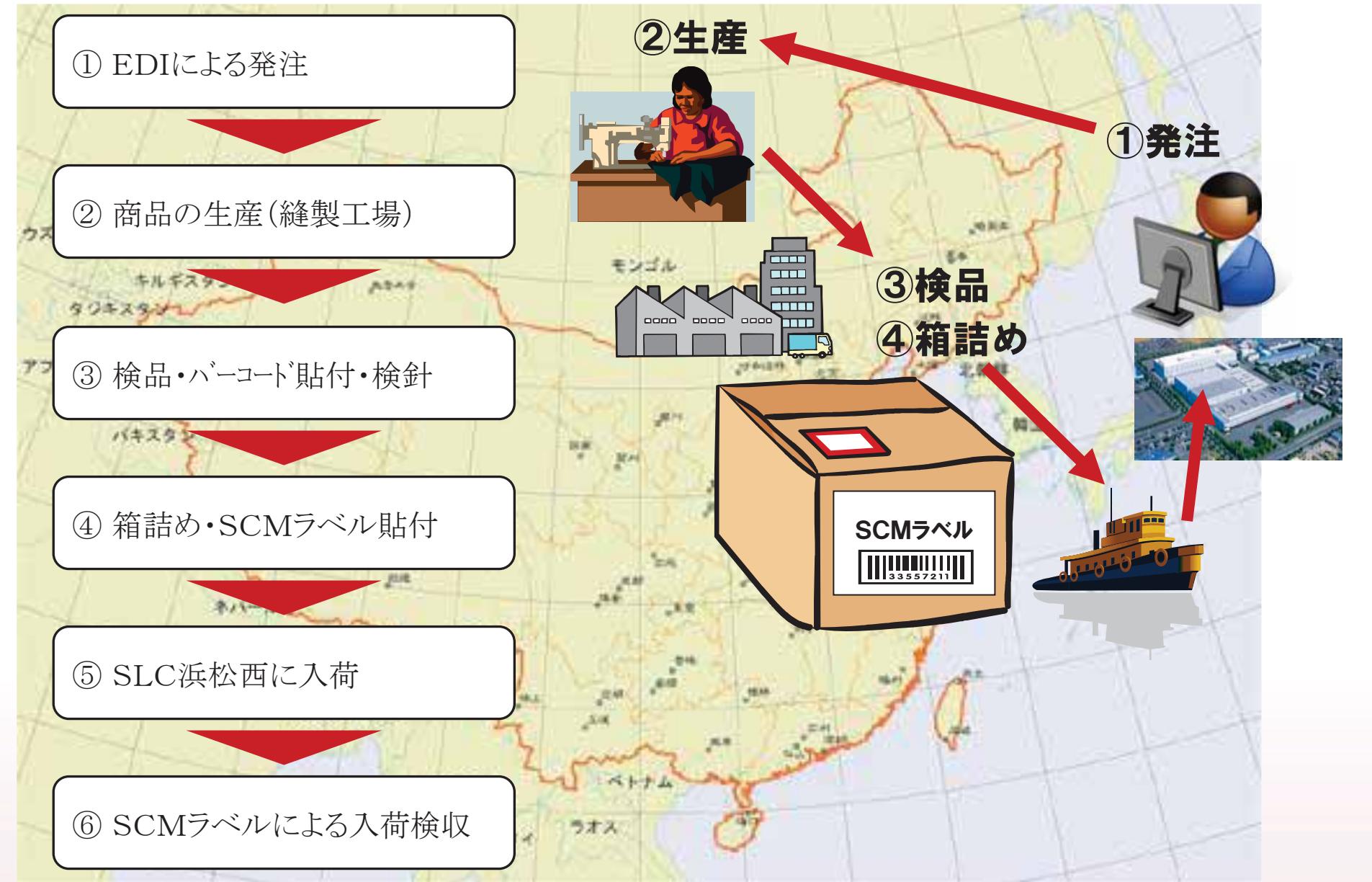
■ スクロールの品質管理体制(概略)



スクロールの品質管理体制(詳細)



■ スクロールのサプライチェーン・システム



■ 抜き取り検品の流れ ~SCM (Shipping Carton Marking) ラベルの活用

scroll

SCM
ラベルを
スキャン



初回入荷商品
の行き先は検査室
(ロケーション・ラベルを自動貼付)



自動的に
分岐



すでに検品完了した
商品は出荷ベースへ

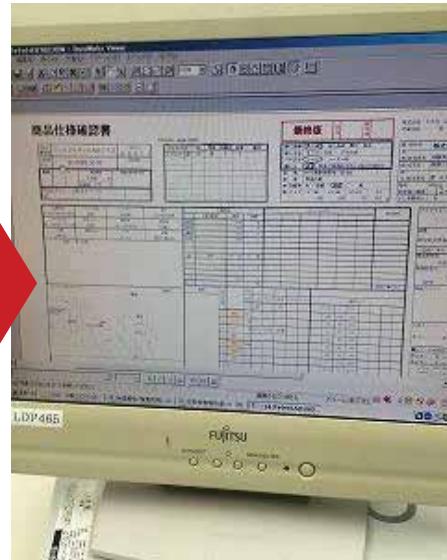


初回入荷商品
(検品室行き
台車)



■ 抜き取り検品の手順

商品をバーコードでスキャンすると
商品仕様確認書が画面に表示される

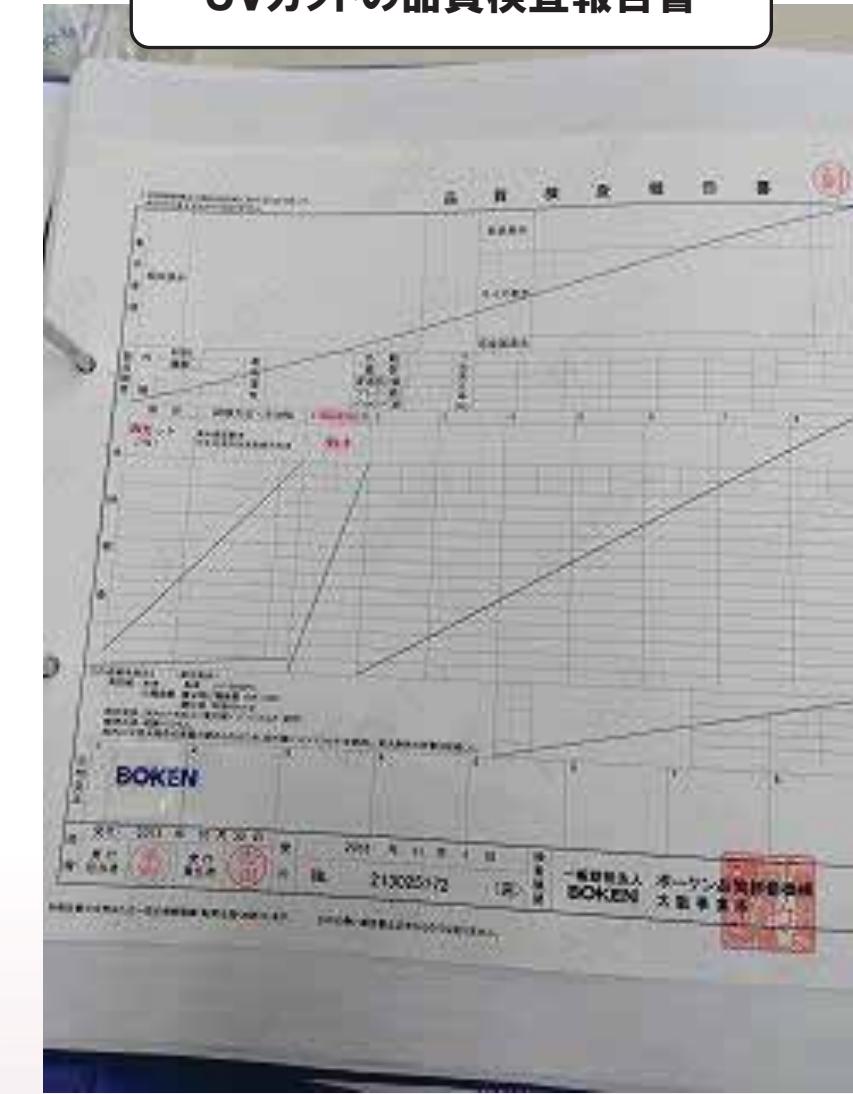


1. カタログ
 2. 仕様確認書
 3. 商品
- の3点を確認する

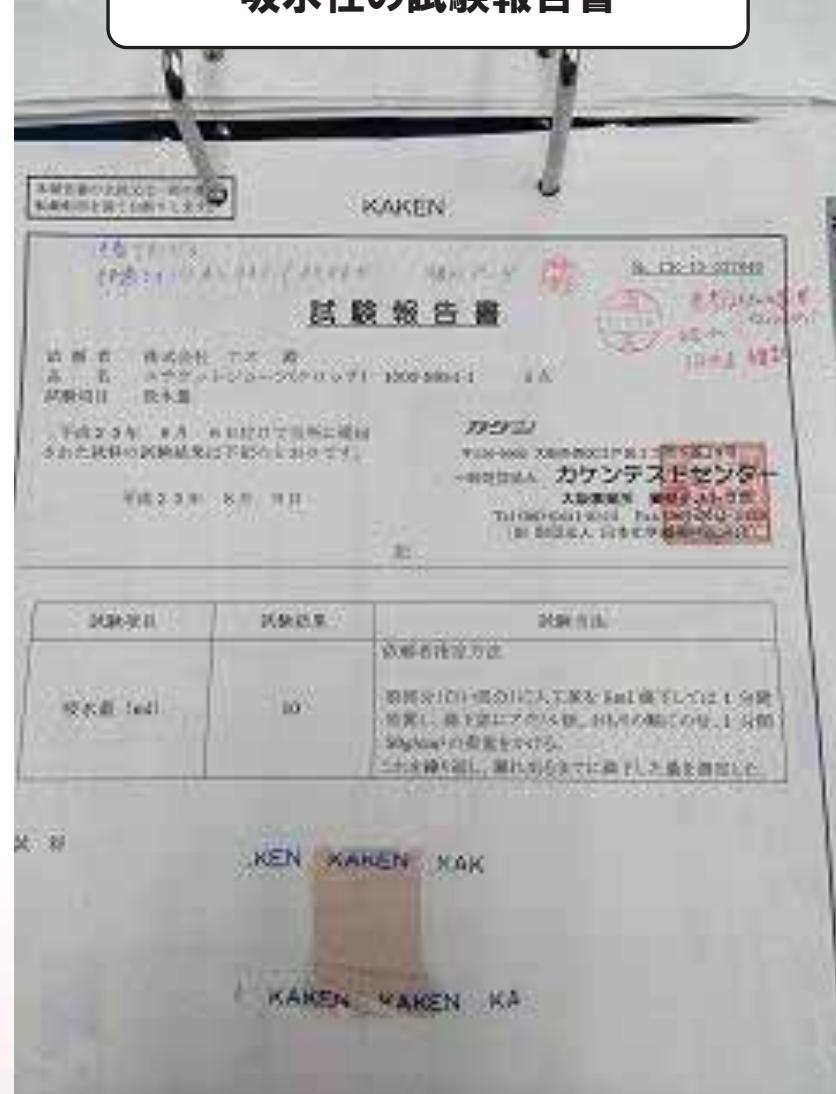


■ エビデンスの確認

UVカットの品質検査報告書



吸水性の試験報告書



中国工場への品質管理の徹底

1. 品質管理説明会の実施 (浜松・上海)



2. 誓約書の提出

2010年 6月 2日

誓 約 書

株式会社スクロール様

（会員）
（会員名）
（責任者名）
（会員名）

当社は、貴社（株式会社スクロール）に納入される商品に関する基準を発送するにあたり、次に記載する事項を遵守し、商品に危険物を混入させないことを誓約いたします。

① 危険物（計：はさみ・カッターナイフ・漆喰・钉その他。漆喰を購入したお客様に漆喰が危険物であるものといたします。）が商品（工場で生産される製品を含む。）に混入することのないように、作業マニュアル・危険物取扱いルール・作業環境基準を整備し、作業者を指導教育いたします。

② 作業マニュアル・危険物取扱いルール・作業環境の整備について、進捗が確認されていないかどうかを常にチェックし、作業者の危険物の混入防止に対する意識向上に努めます。

③ 当社が基準の全額または一部を委託する生産工場や OEM 工場に対して、危険物管理の指導監督を実施します。

④ 貴社から、上記の①から③までに該当する場合は、貴社の基準に従い、適切にその箇所を強調いたします。また、貴社から指導監督があったときは、協議のうえ、その提案に基づいて改善対応いたします。

⑤ 万一危険物の混入が日本国内で発見された場合は、貴社の顧客に近い、直ちにその箇所を強調し、その結果を貴社に報告いたします。

⑥ 万一危険物の混入が日本国内で発見された場合は、危険物混入の箇所が当社や当社の顧客する委託先にあることが明らかになった場合は、速的進むおよび損害賠償金を貴社の顧客に追及いたします。

⑦ 万一危険物の混入が日本国内で発見された場合は、貴社の顧客が当社や当社の顧客する委託先にあることが明らかになった場合は、口頭の勧告や止の裁定を受けても強調を増大することはございません。

は 上

3. 工場点検の実施 (年に1回実施)

《品質管理チェック項目》

■工場名 大連カリ
●責任者名 李世民

以下は、危険物混入を発生せないため実行しなければならない項目です。オフタケでみてください。＊は必ずです。

<取扱先>

- ① フィルム商品における全国の販賣品の際の鉛封被付化粧品の使用の徹底。 YES NO
- ② 危険物管理が徹底されている工場・供給場所にオーバーを入れる。
- ③ 基本半年に一度は、運用工場・供給場所の状況調査を行い、特に「危険物管理」については現地の状況のチェックを実施する（結果、駐車場、駐車庫、OCN）。
- ④ 納品や出荷の段階で「やのこす」を定期的に実施する（結果、包装、荷物、ハンドラ、包装庫等）。
- ⑤ 基本半年に一度生産工場を訪問し、経営層や工場長とコミュニケーションをとる。

<生産工場>

- ① 危険物取扱い料（料）アダプター等を導入し、貴社の顧客へ一括管理、手順レ交換のルールを定し、台帳記録（登録）を行なう。運送状、荷物状況、販売名、責任者を記入する。
- ② おの復元不能性のルールの実現（危険物の輸入）を止め、当該ルールを数値封鎖等。
- ③ 危険物封箱、ハシミ、カーター等は、メーカー種類の統一をする。
- ④ 作業員が使用する工具は、番号などで実現する（工具の保管所を設ける）。（ハンドル等でわかるでありますか？）
- ⑤ 作業員は、さらにあらためて真面目に使用しないように指導させる（外から傳染厳禁）。
- ⑥ 作業員は、工具などに直接触れる場合、危険物に觸れたものは、責任者にかかる危険物管理室に移動する。
- ⑦ カターナイフや鋼綱は危険物庫・機械設備・爆破出荷場等で絶対に使用しない。
- ⑧ シンク封止定期巡回（一ヶ月毎）の実施を怠らない。

<取扱業者>

- ① 危険物の混入後は、検査結果後から商品が正常な作業環境である。
- ② 危険物の混入後は、貴社の顧客へいたしまして、桂樹の経営は貴社の責任者でなければならないことを示す。
- ③ 基本二回り検討へ行なうべきであるができない場合は、「誰がどんな理由によりどのレベルに変更をしたか」を記録を保管する。
- ④ 作業場のメンテナンスチェックを定期的（実施する（最低半年に一度）と同時に内コリを）ために消滅する（最低月に一度）。
- ⑤ 作業場をミニマム化して、道筋の改善をする。
- ⑥ 作業場内ゴミ箱をタバコのルームを作り、道筋の改善をして、作業場は清潔にする。
- ⑦ 作業場内ゴミ箱をタバコのルームを作り、道筋の改善をして、作業場は清潔にする。（いつ、誰が、どのくらい程度で、どこにタバコし、結果がどうですか？）
- ⑧ 作業場内ゴミ箱をタバコのルームを作り、道筋の改善をして、作業場は清潔にする。（いつ、誰が、どのくらい程度で、どこにタバコし、結果がどうですか？）
- ⑨ 作業場内ゴミ箱をタバコのルームを作り、道筋の改善をして、作業場は清潔にする。
- ⑩ 作業場内ゴミ箱をタバコのルームを作り、道筋の改善をして、作業場は清潔にする。
- ⑪ 作業場内ゴミ箱をタバコのルームを作り、道筋の改善をして、作業場は清潔にする。
- ⑫ インバーサイド（リサイクル）等について必ず「危険物品を実施し、危険物を保管する。
- ⑬ 不良品をモルタル等でやわらげは「検査対応」とする（合意シール）。
- ⑭ 労働環境が整わないよう、職場とコミュニケーションをとる。

<その他>

- 95%電池・電線・電線・消火栓・手洗い・トイレの実施。
- 人手不足が大きな一方通じ少人数での作業環境を作る。
- 鉛封用・工具袋が無く現状に人が専用袋をそのまま持つ。
- 不良品をモルタル等でやわらげは「検査対応」とする（合意シール）。
- 労働環境が整わないよう、職場とコミュニケーションをとる。

● 責任の責任者の入れ替え時に特に気をつける。